



北浦の水質浄化対策について

3. 農地対策

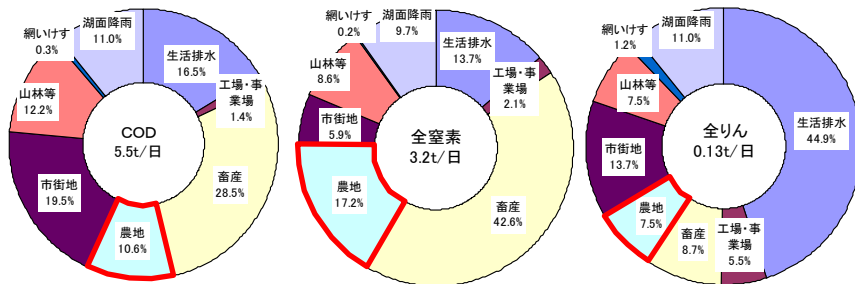
平成26年10月25日(土)

茨城県農林水産部農村計画課



1

1. 霞ヶ浦の汚濁源(H22)の概要



排出負荷の割合は、**農地系**で、
COD:10.8%, 窒素:17.2%, りん:7.5%

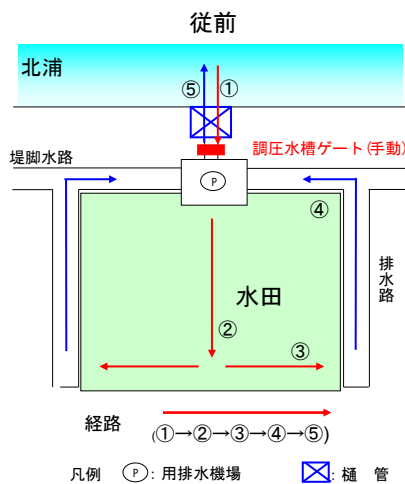
2

2. 北浦沿岸の農地（水田）

農業用水の半数は北浦から直接取水

3

3. 北浦からの農業用水の取水方法

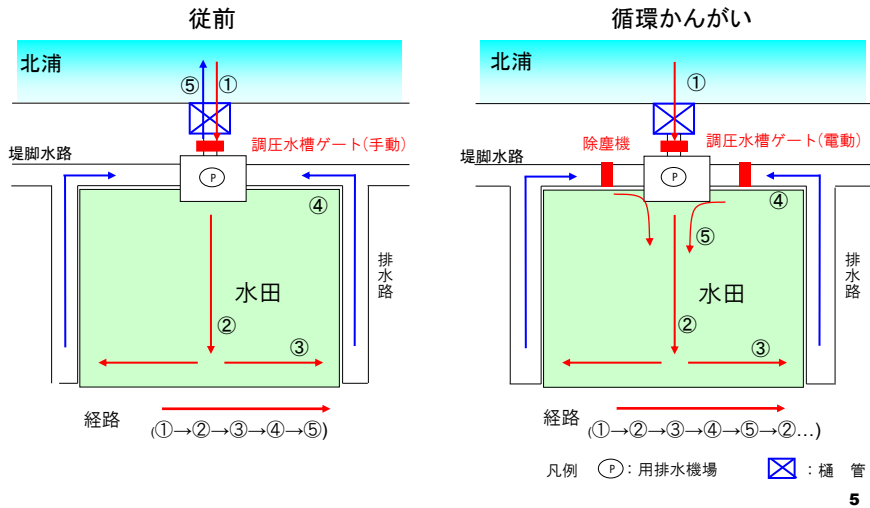


↑ 用排水機場イメージ

4

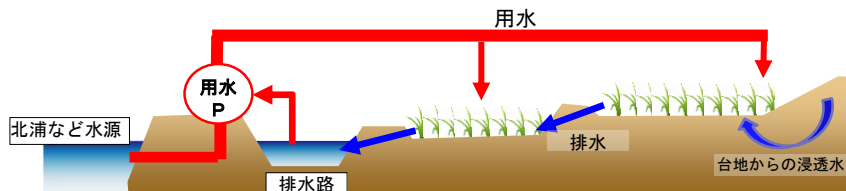
4. 循環かんがいによる農業用水の利用方法

従前と循環かんがいのイメージ



5. 循環かんがいによる農業用水の利用方法

従前と循環かんがいのイメージ(横断面図)



農業排水を農業用水として再利用することで、窒素、リン等の汚濁要因の流出を防止

6. 北浦における循環かんがい施設の整備目標

北浦から直接農業用水を取水している地域においては、循環かんがい施設を11箇所から26箇所へ増加を図る

【目標値】 H22当初値→H27目標値

	北 浦
循環かんがい施設の整備	11箇所 → 26箇所 (+15箇所) 274ha → 592ha (+318ha)

7

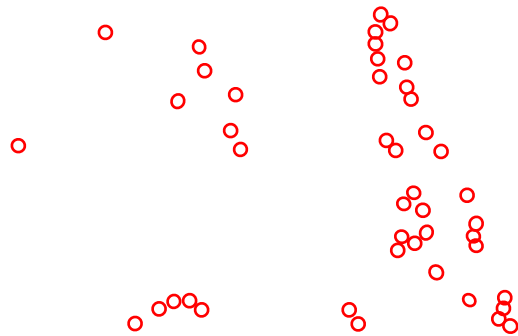
7. 農業排水再生プロジェクト事業



取水ゲートの電動化, 除塵機の整備等の補助

8

8. 循環かんがい実施位置図(H25迄)



北浦沿岸用排水機場：31 機場を整備
→約70%の用排水機場で循環かんがいを実施
→COD .0.7 t, 全窒素 .2.1 t 全リン .0.26 t を除去